friendship force
WESTERN TOKYO

December, 2013　　第18号

ニュージーランド　ネルソンクラブ渡航

今年の活動を振り返って　会長 石井健二

交換は、サラトフ受入（5月）に続き、写真のようにこのたびNZ・ネルソンに渡航し、心温まる友情を育むと共に雄大な自然を楽しんで来ました。国内の活動は4月の「日本科学未来館」を含むお台場見学に続き、初めての試みで6月に新潟ク、9月にMt. Fuji 山梨クを訪問し交流しました.会員は今年6名の仲間を迎えることが出来（現在35会員）、目標に今一歩のところです。

運営面では、会報制作、イベント企画、会計など新たな担当の皆様が尽力下さっています。2015年の渡航国、期間、人数等に関するFFIアンケートは、皆様の希望・意見を伺った上、受入は新たに、ストップオーバー（他クラブステイ後2・3日の受入）も可能と回答致しました。最後に、当クラブの収支は、ここ数年赤字が続き繰越金を取り崩していることから会費、FFIへのクラブ費納入法、支出等見直し中です。まとまり次第提案させて頂きますのでどうぞ宜しくお願い致します。

1 ネルソン渡航交換特集 10/31～11/7, 2013

Exchange Director 山崎恵美子

西東京14人、Mt.Fuji山梨1人、合計15人は晴れ渡る小さなネルソン空港で大歓迎を受けた。
ネルソンはNewZealandの南島北端に位置するイギリス的な街で、スローライフを求めるリッチな人が移り住み、黄金色に輝くビーチ沿いの街道で仲間とサイクリングを楽しむ。ホスト宅では果物、野菜、ハーブ等を育て自然と共存する。「私たちを信じて」とサプライズ一杯の計画を空港で渡されびっくり!私たちが日本料理を披露する計画になっている。午前中はホストと過ごし、午後は全員参加のアクティブへと、またホスト以外のメンバー宅のディナー招待で親交を深め合い、毎日のドライブで海山を堪能した。空港外にアンバサダーの渡航年とクラブ名が光る標示板があり、来年には2013 年西東京と刻まれる予定。会員数は70 人ほど、年3回の渡航と受け入れを楽しんでいる。独特のさわやかさが漂う穏やかな人柄に触れ、心温まる素敵な渡航であった。
どうぞ皆さんのリレー日記をご覧下さい。

FF Mt.Fuji山梨クラブ　庄司日出夫

今回のネルソン訪問は、私のWelcome to Nelsonから始まった様な記憶がある。なぜそのようになったかはさておき、私のネルソン訪問の準備はたったの2日という慌ただしいものでした。忙しい日が続いた事と、ネルソンの知識があまりにも未熟であった為それ程期待するものがなかったようだ。しかし、この期待は、見事に裏切られる事になる。ネルソンは、素晴らしい。人生に1度は訪れるべき所。これで十分なのでしょうが、付け加えるなら、自然はもちろん、人も、町も、生き物さえも素晴らしいものでした。
この様な機会を与えてくださった西東京クラブの皆さんに心から感謝するとともに役員の努力に敬服いたす次第です。楽しい旅と経験をありがとうございました。

1日目　ネルソン空港到着

10時間飛行してNZオークランド、そこから乗り換えて40分で無事ネルソンまで到着、飛行場にはネルソンクラブのホストが全員大きな笑顔で出迎え、教会の施設でのウエルカムパーティ会場へ車で15分ほどで着きました。先月選挙で選ばれた初の女性市長が来て下さり、歓迎の言葉とカレンダーの入ったプレゼントバッグ。1時間ほどで手作りスイーツのティパーティは終り、午後5時頃しゃくなげの咲き乱れる道をそれぞれのホスト宅に向かいました。（石井夫妻）

2日目　市場でShopping

明日は両クラブの女性によるお料理体験が計画されており、西東京は日本食の昼食、ネルソン側はデザートを近くのNayland Collegeで一緒に作ることになりました。2日は朝からネルソンのマーケットやアジアの食材店に買出し、市場は毎土曜日に開かれ地元の食料品や手作りのおもちゃ等種類も多く沢山の人で大賑わい。私達はそこの屋台でのクレープの昼食にとても満足、夜はホストの知人宅で夕食をご馳走になりました。（竹田夫妻）

3日目　サプライズ　クッキング

11月3日はCooking-Exchange　なんと事前通告なしのサプライズ企画！メニュー＆食材調達、不慣れな調理器具（包丁の切れない事！）にも関わらず、短時間で寿司・焼きそば・胡麻和え等々11品!!も披露しました。「偉大なるかな主婦力」に感動し、「美味しい食事は更なるFriendshipを高める」を再認識した日でした。（村上・虫明）

4日目　ロード　オブ　ザ　リング

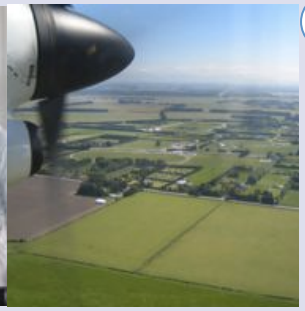
ネルソンから車で1時間半、タスマンベイを見降ろす立派なホストのリン邸。渡航4日目は乗船1時間ほどのクルージング、リン宅でのランチ、ケイブ巡りと盛り沢山。リン宅にはサンドイッチ、果物が用意され、広いリビングやテラスで海を眺めながらゆっくりランチを楽しみ、再び車に分乗してケイブに向かった。ケイブは気の遠くなるような年月を経て形成された鍾乳洞で Lord of the Ringsの撮影現場となったと聞き興味深い。（稲垣・加藤）

5日目　Gibbs Farm/Thanks Dinner

午前中各自ホストと過ごし午後はGibbs Farmへ集合。犬による羊の訓練、のんびりと草を食べているアンガス牛、羊の毛の刈り取りなど見学し最後にお茶とお菓子を楽しみ、ニュージーランドらしさに触れた。（鳥居典子）
夜はサンキューディナー。ここ数日でお互いに気心も知れ、また少々のアルコールも手伝って話も弾み、打ち解けた賑やかなディナーを楽しみました。（鳥居・菅沼）

6日目　さよならParty

暮れ森のレストランでさよならparty. 風呂敷の使い方、最後は唐草模様の大きな荷物を担いで庄司氏。皆何??ドロボーだったんだ。爆笑（^_^）　ロイス会長夫妻のデユオはおっとりしたキウイそのもの。楽しかったね。（工藤・山崎）



7日目　ネルソン出発

11月7日　　ついに別れの朝がやってきた。石井会長一行11人はクライストチャーチへ、竹田夫妻と工藤さん、庄司さんは帰国の途に。それぞれネルソンクラブの皆さんとの楽しく充実の思い出を胸に空港を後にした。
（八塚・松塚）

2 鳥取日本大会

石井　健二

名峰、大山の麓、山陰の商都と呼ばれた米子市の会議センターにおいて、第25回日本大会が、去る10月19日、FFIから新任のジョイ会長を招き約200名の参加を得て開催されました。西東京からは7名参加。総会に先立ち地元高校生による荒神神楽の見事な演舞、懇親会パーティの最後には参加者全員が2重の輪になり順繰りに移動する踊りなど、FFならではの演出で盛り上がりました。

午前中の代表者会では、直近の関東・中部・西ブロック会議報告・質疑、事前のアンケートから
① 少人数渡航の問題点、
② 受け入れ到着日時の統一要望（西東京ク他）
③ グローバル交換の課題
の3点を中心に活発に意見交換しまし、FFIにおける検討もお願いしました。午後の全体会では、ジョイ会長ほか来賓挨拶、新任の金元FFI職員兼FFJ事務局紹介に続き、代表者会報告、広島世界大会報告(森川氏)、被災地高校生豪州訪問報告(蓋氏)、最後にWebMaster佐々木氏からFacebookの安全な使い方について解説頂きました。

翌20日の観光を含め、大会の運営はとても手際よく、関係各位のご尽力に改めてお礼を申し上げます。

日本大会の懇親パーティの舞台で
西東京クラブの参加者全員が新会長を囲んで

friendship force INTERNATIONAL

島根県安来市の
足立美術館

地元高校生による
荒神神楽

FF新会長 Joy DiBenedetto

Joy DiBenedettoジョイ・ディベネデットさんは、ニューヨーク生まれのニューヨーク育ち、HUM、国境のない人道支援団体の前CEO。アトランタのCNNニュース部門で働いて居たところ、Friendship Forceの会長募集を知り、これこそ自分の仕事だと思って応募したと言う。40台半ばで柔らかな人当たりながら、活動的な方で自転車で世界中を旅したという。若返りが急務の私たちの組織に、新風を吹き込んでくれることを期待しましょう。（石井 嗣代）

ポストツアー山陰―出雲大社と松江城　梛川 由紀子

出雲大社

鳥取クラブが周到な準備の裡に用意された観光3コースでは、60年ぶり遷宮の出雲大社がやはり人気が高く、出席者の三分の二の84名を乗せた二台の大型バスは、大会翌日の10月20日朝8時に米子のホテル前を島根方面へ出発した。心配された渋滞も無く雨も降らず、当日帰宅予定者の乗り物の時間も全てスムーズ。参加者はリボンの色でグループ分けされ同色の旗を持つ責任者が先導、車内の説明も簡潔で判り易く、まるでプロの様にあざやかな主催クラブの気配りに感謝します。

最初は安来市の足立美術館。雨にもぬれず歩行も楽に見られるように回廊が造られていて、窓枠で切り取られる一服の絵のように名園が鑑賞出来た。紅葉には少し早かったが、そこは横山大観の双屏・紅葉で我慢。出雲に向う車窓からは中海や宍道湖の輝く水面を垣間見ることが出来たが、菜の花畑かと見紛う背高泡立草の群生が至る所にあって驚かされた。戦後急激に増えた外来種は自らのアレロパシーで背は低くなったが、秋の風情をススキが醸し出していたであろう場所を占拠してしまった。伝承では今より数倍も高かった本殿に参るための橋の支柱の跡が、出雲大社では最も興味深かった。太古の昔から人は、より高く上って神々の息吹を身近に感じたいと願ったのであろう。神楽殿で舞を奉納したと言われる出雲のお国、どのような踊りだったのかと暫し想像して見る。

つづく松江城の堀川廻りは情緒たっぷり。松平不味公時代の自然石を積み上げた石垣、お金が続かずに石の代わりに木を植えて、堀を留めようとした苦肉の策が思わぬ功を奏して、今では緑深い美しい景観を成している。定年後の人々を対象に市が養成した船頭さんの号令で、姿勢を低くして潜る橋げた、そのエコー効果を狙ってご当地ソングを歌う彼のユーモアも楽しかった。京から輿入れする岩姫を祝って始まった松江祭鼓動(こどう)行列で、折しもタイミング良く和太鼓の音が鳴り響き江戸情緒まで味わう事が出来た。翌日タクシーで境港、大山、倉吉を廻って三朝温泉に一泊。島根観光ばかりでは申し訳なくて、鳥取クラブに御礼と敬意を表しました。

松江城の外堀と内堀を巡る
情緒豊かな和風クルーズ〈堀川めぐり〉

松江城の前でジョイ新会長と共に

3 Mt.Fuji 山梨クラブとの国内交流

稲垣 朋子

Mt.Fuji 山梨クラブの庄司会長と山本敏雄会員が、ブロック会議で交わしたテニス談義から話が進んで、9月22―23日に実現した秋のイベント。1週間前の台風から一変晴天に恵まれスタートしたが、三連休とお彼岸が重なり高速バス組(10名)は河口湖駅に3時間遅れで到着!!

昼食は清水國明さん経営の[森と湖と楽園]でバーベキュー。煙にいぶされながら早めに到着組(車組)が焼いて準備していて大助かり!後はテニス組9名とサイクリング組4名に分かれた。山梨クラブからテニス交流に4～5名参加、澄みきった空気の中、眼の前の世界遺産富士山を眺めながらテニスが出来る喜びに、皆さん大いに盛り上がった。

夜は山梨会員のお店“いこい”で懇親会。FFI交換談義、幼児教育談義等夜遅くまで続いた。

2日目午前中テニス組4名は庄司さん夫妻達と親睦ゲーム、残り8名はワゴン車を借り西村会員のドライヴで、富士浅間神社に向かった。日本武尊が「富士の神山は北方より登拝せよ」と勅されて、建てた大鳥居(799年)は木造では日本最大、60年に一度の大改修工事中だったが本殿、東宮、西宮ならびに数々の天然記念物の大杉に圧倒された。

この2日間、 宿泊施設「フイッツ、リゾートクラブ」の利用、送迎の手配等、庄司ご夫妻にはすっかりお世話になりました。ありがとうございました。

バーベキュー集合写真

いこいにて懇親会

この後庄司さんの教育論

富士浅間神社

最強の前衛

4 ニューオルリンズ世界大会

石井　嗣代

新会長と愛知さんから
これまでの功績を称えて

第36回FF世界大会は、アメリカ、ルイジアナ州ニューオルリンズで11月23日から3日間、史上空前の700名が32カ国から参加しての開催となりました。ほぼ毎年参加している私は、懐かしい顔に幾つも会いました。日本からは約30名の参加です。あいにくの低気圧で、ほぼ毎日とても寒く10度以下で、小雨そぼ降る日々でしたが、さすがにFFの人たちの熱気はすごくて、予定通り賑やかに進行しました。今年はなんと言ってもFFIの会長が若干45歳のジョイ・ディベネデットさんがどんな方かに注目が集まったと思います。

日本では既にお目にかかった方も多いけれど、従来の普通の交換に加え、新会長の舵取りによってフェイスブックやツイッターなど新しいツールを取り入れながら、さまざまな新しいアイデアで組織を発展させていく大きな息吹を感じました。余村さんの理事は今年で終了、新たに4名の理事が世界のあちこちから選ばれ、11カ国16名の理事で新しい会長とFFIを支えていくことになります。色々とワークショップで勉強の傍ら、蒸気船に乗ったり、皆でパトカーとバンド、スティルツマンと言う背の高いピエロさんたちの先導で、ぴかぴかネックレスを投げながらバーボンストリートをパレードしたりはとても当地らしい楽しさがありました。私には、全体会で16年の貢献を称えてと、またしてもジョイ会長と愛知さんに表彰頂き、立派な額を頂きました。うれしいことです。今回は頑張って苦手なスピーチを用意してお話して参りました。来年はニュージーランドのオークランドで10月に開催と聞いております。皆さんふるって、ご参加ください。

5 関東ブロック会議

虫明　陽子

日時　6月29日（土）14:00～16:40
会議終了後17:00～20:00 和民にて懇親会
場所　浅草文化観光センター 5階大会議室
出席者　35名　東京ク（13名）・西東京ク（12名）・埼玉ク（8名） Mt.Fuji 山梨ク（1名）・
FFI金元勅子氏

＜感想＞

若い世代・職業を持つ人の参加、及び全会員の活発な参加を促す工夫を聞く事が出来ました（役割を細分化し負担軽減、会員親睦のツアーや食事会などの企画、デイホストへの積極参加の依頼、など）。また、会費額・支出内訳など各クラブの運営方法は、とても参考になりました。懇親会では、より具体的に交換時の問題点や解決方法・クラブ活動の活性化を話し合えましたし、皆様との親睦も深まりました。（ここから「秋の企画：Mt.Fuji　山梨クラブ訪問」が実現した次第です）

議題
1.FFI理事会報告（余村とこ氏 代理風間ゑみ氏）
2.FFJ最新報告（FRC石井嗣代氏）
3.各クラブ2012～2013年度交換について
4.2014年度交換について
5.合同渡航、航空券購入方法について
6.国内FFクラブとの親善交換、
7.FFIテーマのある交換について
8.各クラブの運営状況と課題
9.FFJのHP、フィールドレップについて、など

西東京からは12名が参加

お知らせ

2014年活動予定

2月1日（土）11時半～
西東京クラブ総会
ザ・ホテルエルシー町田 3階《龍皇》

5月18日（日）～24日（土）
渡航 フランス・ビアリッツクラブ
ED:石井 健二
サブED:菅沼 益子

6月29日（日）～30日（月）
日本大会 札幌クラブ主催
ホテルロイトン札幌

6月末
会報第19号発行

日程未定
関東ブロック会議　Mt.Fuji 山梨クラブ主催

10月11日（土）～17日（金）
受入 アメリカ・ノースイーストオハイオクラブ
ED:棚川 善一
サブED：加藤 幸子
受入ホストをご希望の会員は、
042-723-6760 加藤まで申し出て下さい

10月14日（火）～16日（木）
FFI世界大会　ニュージーランド・オークランド

12月末
会報第20号発行

その他
毎月一回役員会・クラブミーティング、他

2015年世界大会は、カナダ・バンクーバー
9月11日~14日 予定です

編集後記

石井会長態勢になって2号目の会報が完成、ご覧のように今年も海外渡航に国内クラブとの交流と、賑やかな下半期となりました。皆様からのご意見だけでなく、どうか次号へ楽しい投稿もお待ちしています。

ところで2020年夏のオリンピックが東京での開催と決まりました。敗戦からの復興と立直りを披露した前回1964年と異なり、今回のテーマは拙速に破壊した自然や文化を蘇らせ、老舗(しにせ)東京が成熟した都会生活を世界に示すことだと思います。例えば世界一安全な地下鉄など東京の公共交通に、外国人中心の一般乗客との交流車両を繋げることを提案します。
つまり走る FF,Friendship Carは如何ですか。
（広報担当 棚川善一）

例によってデザイン担当の中川です.近頃ずいぶんと寒くなりましたが南半球は夏まっさかりなのでしょうね.今回の見所,ネルソンはいかがでしたか?日記形式ですので,これをみれば楽しかった日々を時系列に沿って思い出せると思います.

今回の影の主役は庄司さんです．Mt. Fuji山梨クラブとの交流がより親密になれば,より楽しい日々が過ごせると思います.山梨で久しぶりにテニスをしましたら,翌日以降体中が筋肉痛になりました…穴蔵にこもっているだけではなく,少しは運動しようと心に決めました.

今年の漢字は「輪」らしいですね.今年のFF西東京は国外だけではなく国内にも友情の輪が広がったよき一年であったと思います.
（編集人 中川貴文）

発行日　2013年12月　第18号
発行者　ザ・フレンドシップフォース・西東京

川崎市宮前区宮前平3－12－8

Tel & Fax　044-852-5231

ホームページ
www.friendshipforce.jp